

第34回農業ジャーナリスト賞 受賞 【OHK制作ドキュメンタリー番組 再放送決定】

報道関係各位

OHK岡山放送が2018年に制作し放送したドキュメンタリー番組「やがて風景になる 若き木工職人の成長記」が、第34回農業ジャーナリスト賞を受賞しました。

番組は、「10年に及び、丹念に取材を続けてきたことが評価される。森林資源を活かし、森林再生に貢献しようとして挑戦するエネルギーに満ちた若者達の日常と成長を追いかけた秀作の長期ドキュメンタリー番組」と評価を受けました。この受賞を記念し、番組の再放送が決まりましたのでお知らせ致します。

■再放送日： 2019年6月16日(日) 25時40分～27時10分

■番組： 「やがて風景になる 若き木工職人の成長記」

■内容： 人口約1500人、岡山県北の小さな村・西粟倉村。村の面積の96%を森林が占めるこの村に、村が進める「百年の森林構想」に惹かれ集まってきた若者たち。彼らを選んだのは、これまでタブーとされてきたヒノキの家具づくりだった。ものづくりで森林の再生に貢献しようとする彼らの姿を通して、森の「これから」を探る。

■制作スタッフ：

| | |
|---------|---------|
| プロデューサー | 吉留 康弘 |
| ディレクター | 白井 大輔 |
| 撮影・編集 | 平井 大典 |
| ナレーター | 天野 ひろゆき |
| 構成 | 梅沢 浩一 |



写真は6月10日 東京で開かれた表彰式
(前列右から2人目が白井大輔ディレクター)

【農業ジャーナリスト賞】

1986年、農政ジャーナリストの会創立30周年を記念して設立され、農林水産業、食料問題、農山漁村の地域問題などに関する報道などで、ジャーナリストとして顕著な功績をあげたものを表彰しています。

OHKのドキュメンタリー番組が受賞するのは、2004年「耕せど古里は～ 棚田に迫る危機～」、2015年「ヒノキは僕らの宝物 若い力が森林を再生する日」以来3回目。